

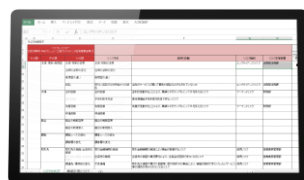
# 事業計画とリスクの統合管理支援サービス powered by Oracle PBCS

大建情報システムは、事業計画策定とリスク管理を連動させ、統合管理できる態勢構築の支援サービスをPwCあたらた有限責任監査法人と共同開発しました。リスク管理・事業計画の統合管理フレームワークをもとに、企業の「戦略的リスクレジリエンス」の実現をサポートします。

本サービスでは、大建情報システムが、日本オラクルの管理会計・予算管理システム「Oracle Planning and Budgeting Cloud Service」(以下、Oracle PBCS)のノウハウを生かしてテンプレートや導入サービスを提供し、PwCあたらた有限責任監査法人がアシュアランス業務で培った幅広い知見と、アドバイザリー業務で培った課題解決力を生かして、事業計画策定とリスク管理プロセスを連動させた一気通貫型の経営管理モデルの枠組み作りを支援いたします。



ORACLE®



## 求められる背景

- 事業の多様化やグローバル展開が進むなか、企業の不正発覚、業績下方修正、事業撤退などの事例は後を絶ちません。
- コーポレートガバナンス・コードで「経営陣幹部による適切なリスクテイクを支える環境整備を行うこと」と示されているように、リスク管理と事業計画を統合した経営管理体制の構築は、企業にとって喫緊のテーマです。
- 企業の戦略的リスクレジリエンスの実現により、経営者が適切なリスクを取ったうえで意思決定できる態勢の構築が有効かつ効果的となります。

## 本サービスにより提供できる効果

### 業績に影響しうるリスクを踏まえた意思決定の実現

- 保有リスクやそのリスク動向をふまえた予算の編成
- リスク動向を加味した先手の計画修正／予実分析／次期計画の策定

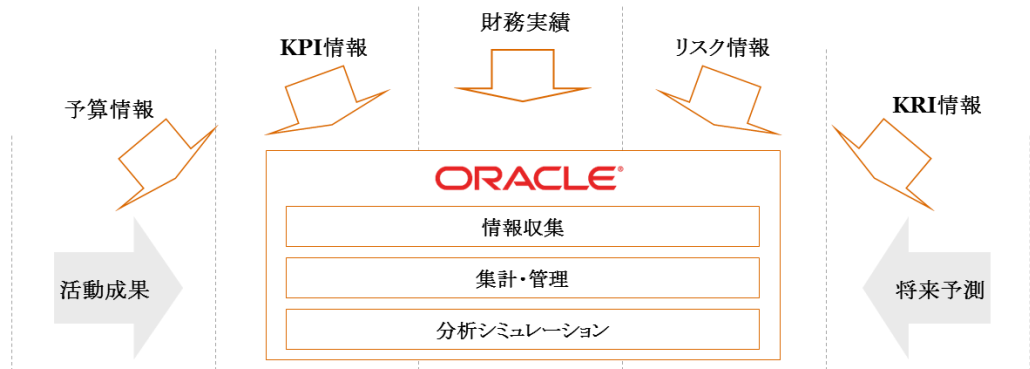
経営企画  
財務部門

### 経営戦略と整合したリスクマネジメントの実現

- リスク対応優先度の合理的な見極めとリスク対応策の費用対効果の測定
- リスク動向の業績への影響範囲の特定と効果的なオフサイトモニタリング

リスク管理  
部門

## サービス価格と導入期間



1	戦略的リスクレジリエンスアドバイザリー (PwCあらたが提供)	約3か月～	4,000,000円～
2	Oracle PBCS導入サービス (大建情報システムが提供)	約2か月～	3,000,000円～
3	Oracle PBCS使用料 (10ユーザー／年) ※ユーザー数に応じて変動あり		1,728,000円

### お問い合わせ

株式会社大建情報システム  
 営業グループ 池田、ビジネス・ソリューショングループ 磯部、平吹  
 TEL : 03-3847-1234 FAX : 03-3847-1166  
 メールアドレス : [pbc@daiken-system.co.jp](mailto:pbc@daiken-system.co.jp)

※OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

※記載されている社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。